

BRY122

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

お客様へ

この度は、弊社の全自動エスプレッソコーヒーマシン「BRY122」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用の前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

目次

安全上のご注意	3
各部の名称	6
付属品	7
材料の補充など	7
本製品の立ち上げ	9
デイリーの清掃（カス容器、トレイユニット）	10
【毎日のお手入れ】オールインワンクリーニング	11
【週に一度／またはミルクが出にくくなったら】ミルク抽出口の分解洗浄	12
【週に一度／コーヒーの出方が良くなくなったら】抽出ユニットの分解洗浄	13
【週に一度／パウダーメニューの出方が良くなくなったら】ミキサーユニットの分解洗浄	14
立下げ作業（クロージング）	15
メッセージ表示（オペレーション上のアラート）	15
エラーメッセージ	16
主な仕様	17
使用の休止	17
保証とアフターサービスについて	18

安全上のご注意

安全に関する重要事項です。必ずお読みください。

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告 この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意 この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きたりする可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品(電源コードやプラグも含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかる、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まつたり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因になります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

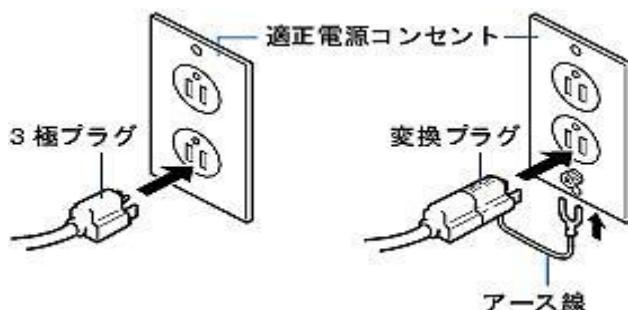
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取り付け、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいる、正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



- 使用する電源は定格 15A (100V) の壁コンセントを単独で使用してください。ゆるんだコンセント、延長コードまたはタコ足配線は使用しないでください。
- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします



注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 10~35°Cになる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらないように周囲の壁や家具や機器などから 10 cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- お湯ではなく必ず水を使用してください。水以外の飲料やミネラルウォーター類、純水は使用しないでください。
- 净水器（クラリスプロスマートフィルタープラス又はクラリスプロスマートマキシフィルター）は定期的に交換してください。

警告

操作を行なう時の注意事項

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンが作動中にホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- ミルク系統の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行なわず放置しておくとミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

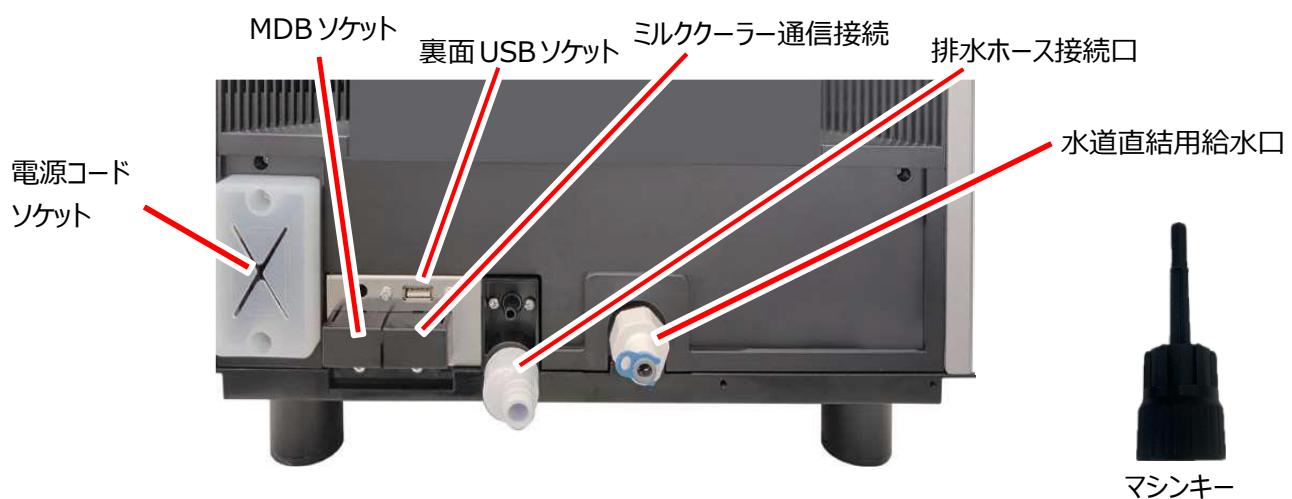
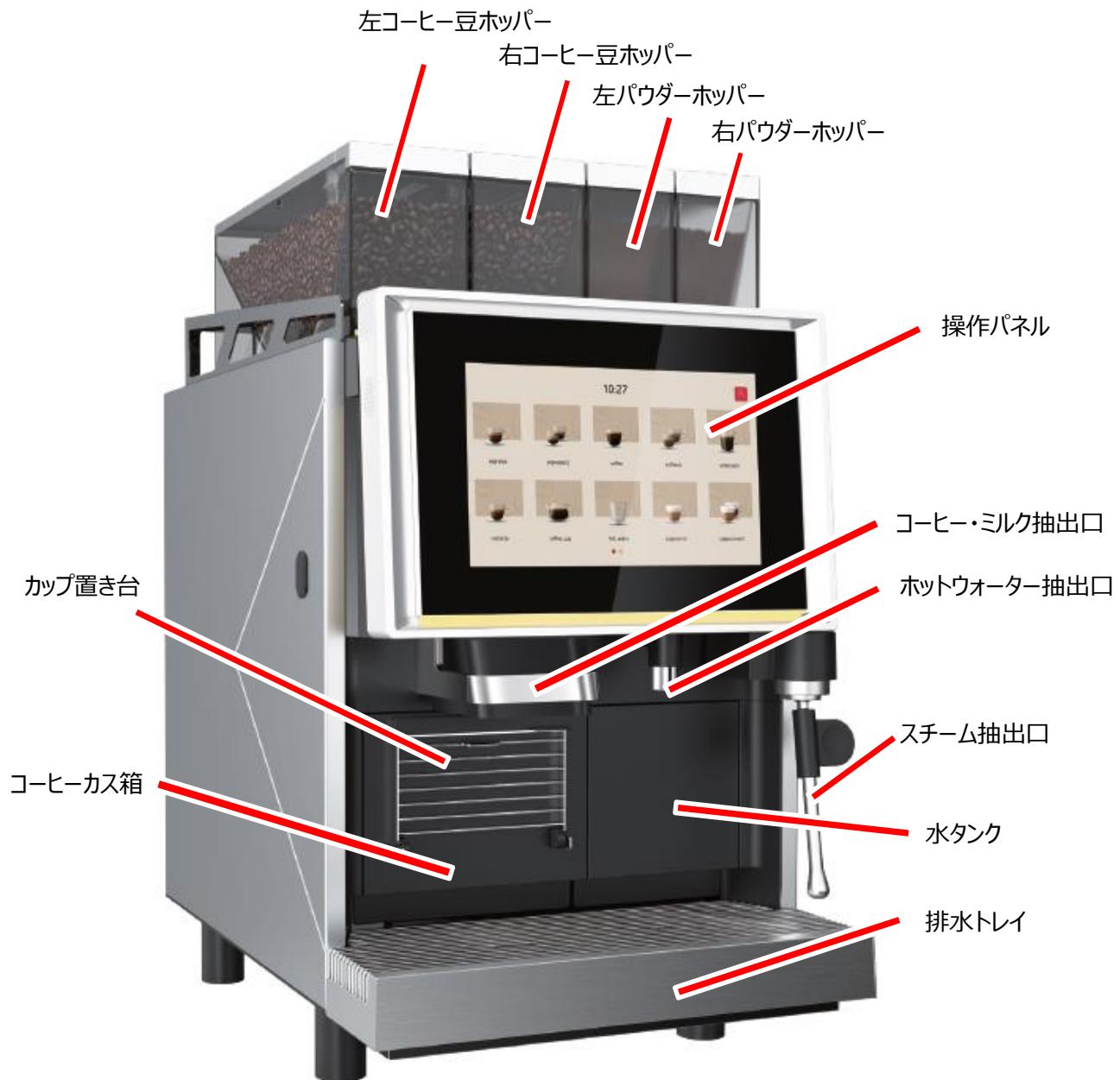
注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒー豆用ホッパーは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆が入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリア部分（アクリル製）にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままでマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

各部の名称



付属品

名称	個数
排水ホース	1
排水トレイ用スプル	1
マシンキー	1
ミルクパイプ+マシンコネクター	1
ユーザーマニュアル	1
水タンクフィルターアダプター	1
電源コード	1
ミルクライン洗浄用ボトル（円柱容器）	1
ミルクチューブクリーナー（サンプル）250ml	1
マシンクリーナー(サンプル)2gx100 錠入り	1
清掃ハケ	1
清掃ブラシセット	1
清掃用排水容器（1.7リットル）	1

材料の補充など

1. コーヒー豆の補充



① 必要に応じてマシンキーを使ってホッパーのカギを開けます。



② ホッパーの蓋を開けます。



③ コーヒー豆を追加します。



④ 必要に応じてマシンキーで蓋をロックします。

【注意】

- ・ コーヒー豆を補充する際は豆をホッパーの間に落とさないようにしてください。
- ・ 粉末のコーヒーを豆ホッパーに入れないでください。
- ・ いかなる液体も豆ホッパーの中に入れないでください。

2. パウダーの補充



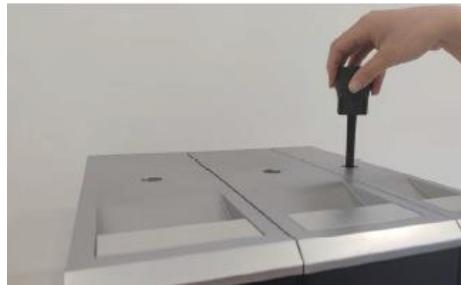
① 必要に応じてマシンキーを使ってホッパーのカギを開けます。



② ホッパーの蓋を開けます。



③ パウダーを追加します。



④ 必要に応じてマシンキーで蓋をロックします。

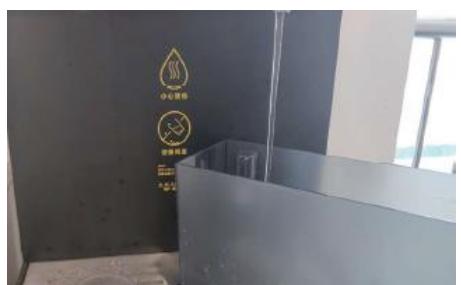
【注意】

- ・ パウダーを補充する際はパウダーをホッパーの間に落とさないようにしてください。
- ・ 粉末のコーヒーをパウダーホッパーに入れないでください。
- ・ いかなる液体もパウダーホッパーの中に入れないでください。

3. 水タンクの補充（水タンク式の場合）



① 水タンクを取り外します。



② 水タンクを水で満たします。



③ 水タンクを取り付けます（正しい位置にあるか確認します）。

【注意】

- ・水面が水タンクの MAX 表示を越えないようにしてください。
- ・水タンクに熱湯を入れないでください。コーヒーマシンが破損する可能性があります。

4. ミルクチューブの接続



① コーヒーマシンからミルクチューブと温度センサーのチューブが出ているのを確認します。



② 両方のチューブをミルク容器の中に入れます。

本製品の立ち上げ



① 電源プラグをコンセントに差し込みます。



② すぎ湯が飛び散らない様に排水容器を抽出口の下に置きます。



③ フロントパネルを持ち上げて中の電源スイッチを押します。



④ 操作パネル右側面上の電源ボタンを長押しします。



⑤ 始動のすすぎが行なわれ抽出口から数回お湯が出ます。



⑥ メニュー画面が表示されたら立ち上げは完了です。

オートリنسについて

本製品は 20 分に一度オートリーンスを行う様に設定されています。本設定は無効にする事もできますが、コーヒーマシンの状態と抽出品質を良好に保つため、有効にして使用される事をお勧め致します。

ディリーの清掃（カス容器、排水トレイ）

1. コーヒーカス容器、排水トレイの清掃

「カス箱を空にしてください」と表示されたら、排水トレイ上部左側のカス箱を引き抜いてコーヒーカスを捨てます。

「ドリップトレイを空にしてください」と表示されたら、マシン下側の排水トレイを引き抜いて溜まった排水を捨てます。



2. コーヒー径路とミルク経路のすすぎ

コーヒー／ミルクなどが出にくい様でしたら日中のオペレーションの中でもお試しください。

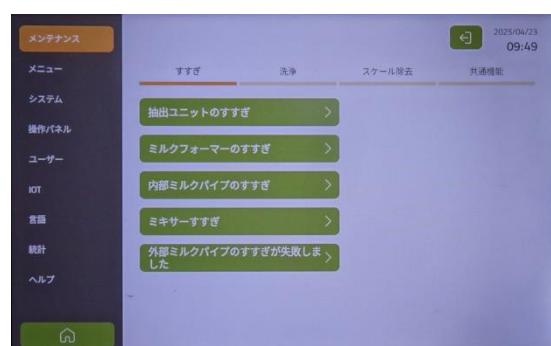
- 画面左上の代理店商標（デフォルトではBREWMATIC）をタッチしてPIN入力画面に進みます。
- 入力された文字が表示される部分をタッチしてキーボードを表示させます。
- 「1 1 1 1」と入力して「完了」をタッチします。



メンテナンスマニュアルが表示されますので、それぞれのケースですすぎを試し下さい。

- コーヒー径路のすすぎ：「抽出ユニットのすすぎ」
- ミルクフォーマーのすすぎ：「ミルクフォーマーのすすぎ」
- ウォームミルクのすすぎ：「内部ミルクパイプのすすぎ」
- パウダーミキサーのすすぎ：「ミキサーすすぎ」

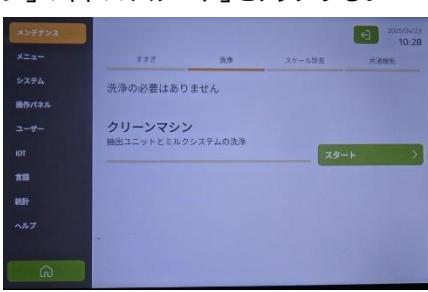
【注意】すすぎ中は抽出ユニットからお湯や蒸気が出るので抽出出口下にミルク洗浄容器などを置き、火傷などしない様にご注意ください。



終了したら、右上もしくは左下の緑アイコンをタッチしてメニュー画面に戻ります。

■ 提供ドリンクの品質を守るため、一日の終わりに必ずオールインワンクリーニングを実施してください。

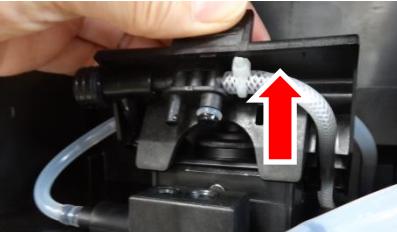
- 洗浄剤はブルーマチックジャパン指定のものをご使用下さい。異なる洗浄剤を用いるとマシンの故障につながる恐れがあります。
- 洗浄プログラムは、約 20 分です。
- マシン洗浄プログラムを中断しないでください。コーヒーマシンの故障若しくは洗浄の品質が保てなくなります。
- 【注意】ミルクメニューを使用しない場合は⑦～⑪は不要です（画面に表示が出ません）

<p>①メンテナンスマニュアルに入り、右の「洗浄」をタッチする。「クリーンマシン」の右の「スタート」をタッチする。</p> 	<p>②「ドリップトレイを空にしてください」と表示されるので、排水トレイの中身を捨ててコーヒーマシンに戻す。</p> 	<p>③「カス箱を空にしてください」と表示されるので、カス箱の中身を捨ててコーヒーマシンに戻す。</p> 
<p>④フロントパネルを上に持ち上げる様に指示が表示されるので持ち上げる。</p> 	<p>⑤マシンからクリーニングキーを引抜く</p> 	<p>⑥クリーニングキーの先端に当社指定の洗浄剤を一錠入れ、マシンに戻して押し込み、シリンダーに入れる。フロントパネルを元の位置に戻す。</p> 
<p>⑦「ミルククリーニング容器に 30ml のクリーナーを入れ、300ml の水で希釈してください」と表示されるので当社指定のクリーナー 30ml を 300ml の水で希釈して準備して「次へ」をタッチする。</p>	<p>⑧「ミルククリーニング容器にミルクパイプを入れてください」と表示されるので、用意した希釈溶液にミルクチューブを入れる。</p> 	<p>⑨抽出口の下に 4.0L ほど入る容器を置く。その後「次へ」をタッチして洗浄を開始する（洗浄中に出てくるお湯や蒸気に注意する）</p> 
<p>⑩「ドリップトレイを空にしてください」「カス箱を空にしてください」と表示されるので、表示の内容に従って操作をする。洗浄容器の排水も捨てる。</p>	<p>⑪「ミルクパイプを外して下さい」と表示が出るのでミルク洗浄容器からミルクチューブを抜き、排水を捨て片付け「次へ」をタッチする。</p>	<p>⑫「確認」をタッチして洗浄を終了する。</p>

【週に一度／またはミルクが出にくくなったら】 ミルク抽出口の分解洗浄

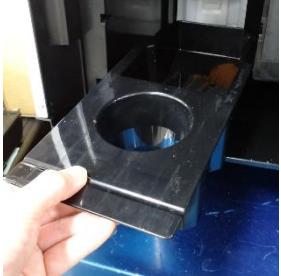
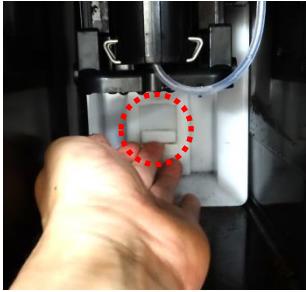
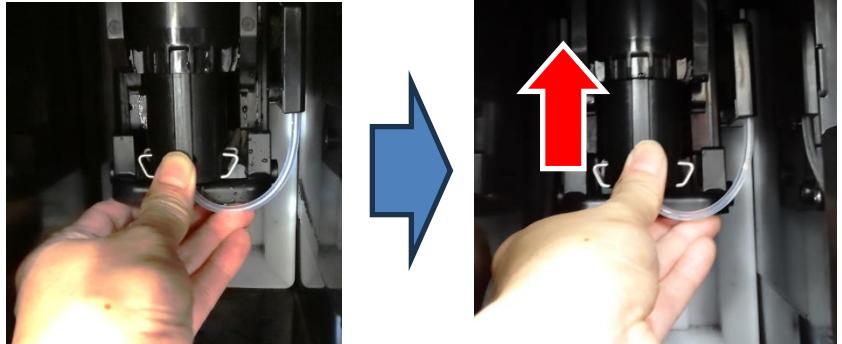
ミルクメニューを使用しない場合は、この清掃は不要です。

注意： 食器洗浄機、乾燥機は、破損・変形の原因となるので使用しないでください。

<p>①前面パネルを上にあげ、抽出口アッセンブリの蓋を摘まんで上に持ち上げる。</p> 	<p>②左チューブを抽出口アッセンブリから外す。</p> 	<p>③右チューブを抽出口アッセンブリから外す。</p> 
<p>④抽出口アッセンブリを手前に引き抜いて外す。</p> 	<p>⑤抽出口アッセンブリの本体を上に引っ張って枠と分離する。</p> 	<p>⑥抽出口アッセンブリからミルクフロッサー部分を分離する。</p> 
<p>⑦ミルクフロッサー部を4つの部品に分解する。</p> 	<p>⑧分解された部品を中性洗剤などで洗う。洗った後、水で十分にすすいで乾かす。 ミルクなど固着が見られた場合は、当社指定のミルク洗浄剤を10倍に希釈して30分以上漬け込み、水ですすぎたあと再度中性洗剤での洗浄を試みてください。</p>	<p>⑨ミルクフロッサー部を分解したとき⑦と逆の手順で組み立てる。 勘合が緩いとミルクフォームの抽出ができなくなる場合がありますので、隙間が無いように組み立てて下さい。</p>
<p>⑩抽出口アッセンブリ本体分解したとき⑤と逆の手順で組み立てる。ミルクフロッサーと抽出口アッセンブリ本体を結合させる。</p>	<p>⑪抽出口アッセンブリをコーヒーマシンに装着する。左右のミルクチューブを抽出口アッセンブリに結合する。</p>	<p>⑫結合後、抽出試験を行い漏れない事を確認してください。</p>

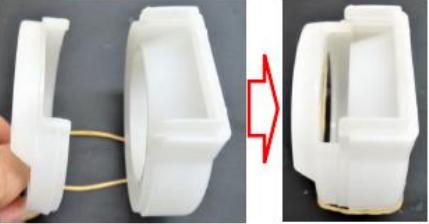
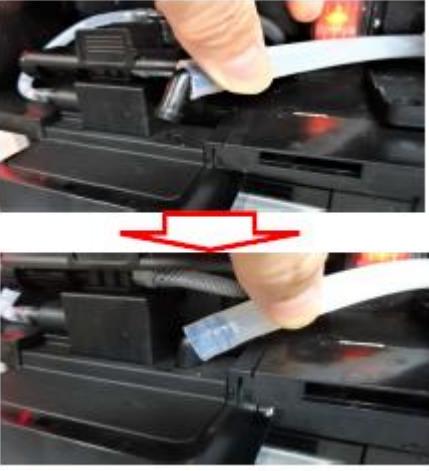
【週に一度／コーヒーの出方が良くなったら】 抽出ユニットの分解洗浄

- ⌚ 週に一度、もしくはコーヒーの出かたが良くない際に試してください。
- ⌚ 抽出ユニットには指を挟みやすい部分がありますので、取り扱いは十分注意してください。
- ⌚ 注意： 食器洗浄機、乾燥機は、破損・変形の原因となるので使用しないでください。

<p>①排水トレイを取り外し、排水を捨てる。</p> 	<p>②カス箱を取り外し、カスを捨てる。</p> 	<p>③カス箱の下の板も外す。</p> 
<p>④抽出ユニットを止めるラッチに指が届く様になるので、ラッチを上に上げる (抽出ユニットが落ちるので注意する)</p> 	<p>⑤抽出ユニットをマシンから取り外す。</p> 	<p>⑥抽出ユニットのメッシュフィルターなど、汚れが目立つ部分を流水とスポンジで洗う(洗剤は使わないでください)</p> 
<p>⑦抽出ユニットを十分水洗いして乾燥させた後、抽出ユニットをマシンに装着する。抽出ユニットの背中を壁につけて上に押し上げる。</p> 	<p>⑧カス箱下の板、カス箱、排水トレイと取り外した順番と逆の順番で部品を戻す。</p> <p>電源を入れた際、画面上部のユニットが正しい位置に戻り、メニュー表示が正しく行われるか確認してください。</p>	

【週に一度／パウダーメニューの出方が良くなくなったら】 ミキサユニットの分解洗浄

- ⌚ 週に一度、もしくはパウダーメニューの出かたが良くない際に試してください。
- ⌚ 組み立て後、ミキサーの接続が不十分な場合飲料の漏れが発生します。清掃後は必ず試し抽出を行ない、漏れない事を確認してください。
- ⌚ 注意： 食器洗浄機、乾燥機は、破損・変形の原因となるので使用しないでください。

<p>①フロントパネルを上に止まるまで持ち上げる。</p> 	<p>②抽出口アッセンブリに付いている右側のチューブを外す。</p> 	<p>③赤い留めフックを上に持ち上げ外す。</p> 
<p>④ミキサーを手前に引っ張って外す。</p> 	<p>⑤ミキサーを3種類の部品とチューブに分解し中性洗剤などで洗う。洗った後は水でよくすすぎ乾かす。</p> 	<p>⑥乾いたら組み立てを行う。まず下の2つの部品を先に合せて一つにする（開口部を合わせる）。</p> 
<p>⑦先に組み合せた部品を本体に付け、チューブも取り付けてミキサーの組み立てを完了する</p> 	<p>⑧分解した時と逆の手順でミキサーをコーヒーマシンに装着する。</p> 	<p>⑨分解したときと逆の手順でチューブの抽出口側をコーヒーマシンに装着する。れるか確認する。</p> 

立下げ作業(クロージング)

マシンの電源を切る前に 11 ページの毎日のお手入れ(オールインワンクリーニング)を行ってください。

➤ 電源 OFF

ディスプレイ右の電源ボタンを 5 秒間長押しします。

自動的に抽出ユニットとミルク経路、パウダーミキサーのリンスが行なわれ、その電源が切れます（お湯が断続的に抽出口から出ますので、火傷などのご注意下さい。



メッセージ表示（オペレーション上のアラート）



エラーが発生すると、マシンはエラーメッセージを表示します。エラーメッセージは、ディスプレイの右上隅に赤い三角形で表示されます。このアイコンをタッチすると詳細情報が表示されます。

メッセージ	原因	アクション
水タンクが外れている	水タンクが正しい位置に取り付けられていない。	水タンクの位置を確認し、正しい位置に戻す。
スクリーンが開いている	スクリーンが正しい位置に取り付けられていない。	スクリーンの位置を確認し、正しい位置に戻す。
排水トレイが外れている	排水トレイが正しい位置に取り付けられていない。	排水トレイの位置を確認し、正しい位置に戻す。
カス箱が外れている	カス箱が正しい位置に取り付けられていない。	カス箱の位置を確認し、正しい位置に戻す。
左のホッパーが外れている	左のホッパーが正しい位置に取り付けられていない。	左のホッパーの位置を確認し、正しい位置に戻す。
右のホッパーが外れている	右のホッパーが正しい位置に取り付けられていない。	右のホッパーの位置を確認し、正しい位置に戻す。
水タンクの水位が低下	水タンク式で水タンクの水量が少ない。	水タンクの水を補充する。
排水トレイが一杯	排水トレイに水が溜まっている。	排水トレイの水を捨てる。
左の豆ホッパーが空	左の豆ホッパーに豆が入っていない。	左の豆ホッパーに豆を補充する。
右の豆ホッパーが空	右の豆ホッパーに豆が入っていない。	右の豆ホッパーに豆を補充する。
左のパウダーホッパーが空	左のパウダーホッパーに粉が入っていない。	左のパウダーホッパーに粉を補充する。
右のパウダーホッパーが空	右のパウダーホッパーに粉が入っていない。	右のパウダーホッパーに粉を補充する。
抽出ユニットをインストールしてください	抽出ユニットの位置が正しくない、若しくは外れている。	抽出ユニットを一度外して付けなおす。

❸ 上記以外のメッセージが表示された時には、メッセージを確認の上、主電源を切り弊社ブルーマチックジャパンコンタクトセンターへご連絡ください。

エラーメッセージ

エラーコード	エラー内容	アクション
E1	メイン PCB エラー	
E2	ボイラーの温度が高い	
E3	サーモブロックの温度が高い	
E4	ボイラーの温度が低い	
E5	サーモブロックの温度が低い	
E6	ボイラーの過熱が早い	
E7	サーモブロックの過熱が早い	
E8	ボイラーの過熱が遅い	
E9	サーモブロックの加熱が遅い	
E10	ボイラー過熱エラー	
E11	サーモブロック過熱エラー	
E12	水タンク検出エラー	
E13	水ミキシングバルブエラー	
E400	コーヒー経路エラー コーヒー経路が空、コーヒー経路の注水が遅い、コーヒー経路への注水が早いなどの警告が三回続いた場合、本エラーを表示してコーヒーマシンの電源が切れます。本エラーが発生した際は、水道直結の場合などは正しく注水が行なわれているかご確認下さい。	1、マシンを再起動してください。 2、再起動後もエラーメッセージが残る場合はマシンの電源をオフにして弊社コールセンターへお問い合わせください。
E401	スチーム経路エラー	
E402	抽出ユニットエラー	
E403	コーヒーマルチバルブエラー	
E404	スチームマルチバルブエラー	
E405	ミキサーエラー	
E406	左パウダーモーターエラー	
E407	右パウダーモーターエラー	

主な仕様

電源電圧	100V AC (50/60Hz)
消費電力	1250W
動作周囲温度	10℃～35℃
" 湿度	80%以下
許容水圧	0.05～0.6MPA
水タンク容量	4.0 リットル
ボイラー容量	0.7L
コーヒー豆用コンテナ容量	1000g
パウダー用コンテナ容量	1000g
コーヒー豆挽きカス容量	約 45 杯分
電源ケーブル長	約 1.8m
重量	約 33.0 kg
サイズ(W × H × D)	380 × 670 × 560mm

(注) 凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を必ず抜いてください。

使用の休止

1 使用休止の準備

- ・ 全ての洗浄およびすすぎを行いマシンを洗浄します。
- ・ 豆ホッパーと粉ホッパーを空にしたあと、洗浄します。
- ・ 抽出口とミルクパイプを手動で洗浄します。
- ・ ミキサーを手洗いします。
- ・ 排水トレイとコーヒーカス箱を洗浄します。

2 短期の使用休止（1ヶ月以内）

- ・ コーヒー径路を空にします（ボイラーを空にする為弊社サービスへご連絡下さい）。
- ・ マシンを電源から外します。
- ・ 給水を停止します（水道直結の場合）。

3 長期の使用休止（1ヶ月以上）

長期間使用されない場合、一部の機能が正しく行われなくなる場合があります。

- ・ 六ヶ月以上通電せずに保管していた場合は再度使用を開始する際補修メンテナンスが必要になる場合があります。サポートについては弊社コールセンターへお問い合わせください。

保証とアフターサービスについて

保証とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、不具合が直らない時は電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理いたします。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 BRY122 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況（出来るだけ詳しく） |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 コールセンター：(045) 947-0804

受付時間：365日 24時間 ※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー系統、ミルク系統、抽出口の洗浄をそれぞれ適切に行なってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い自動洗浄を行ってください。

ミルク系統の洗浄には、専用のミルククリーナーを使って洗浄を行なってください。

ミルククリーナー(液体)を使用するときには直接手や肌に接触しないようにしてください。

コーヒー系統の洗浄には専用のコーヒーマシンクリーナーを使って洗浄を行なってください。

洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管をしてください。

着脱式給水タンクの水は毎日必ず取り替えてください。

必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使いください。

また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケールが発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。

タンクには熱湯やミルクなど水以外のものを入れないでください。

給水タンクを本体につけたまま給水を行なう時には本体のほかの部分に水がこぼれたりかかったりしないようにしてください。

マシンの清掃は内部に雑菌が繁殖しないよう取扱説明書にしたがい定期的に行なってください。

使用中に、取扱説明書に書かれていらない不具合が発生したら直ちに弊社へご連絡ください。

コーヒーマシン 保証書

型 名	ブルーマチックジャパン製 コーヒーマシン BRY122
製 品 番 号	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より 1 年間
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障した場合には故障個所の無料修理を行います。

2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。

3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。

(1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。

(2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障および損傷。

(3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障および損傷。

(4) 販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障および損傷。

(5) 消耗品、付属品等の消耗による交換および交換作業。

(6) 火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障および損傷。

(7) 落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障および損傷。

(8) 車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障および損傷。

(9) 保証書の提示が無い場合および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。

(10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。

4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の

法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせください。

※保証期間は、お買い上げの日より 1 年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社

神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社
本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

250514